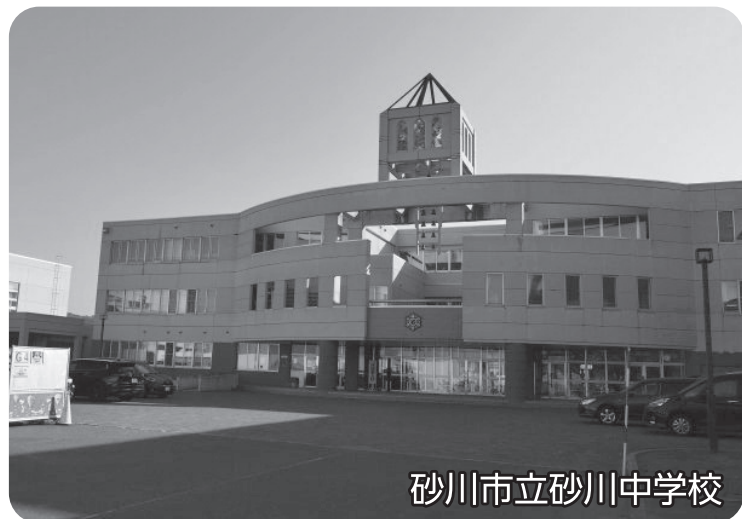


市議会だより すながわ

第178号
令和7年11月1日



砂川市立砂川中学校閉校式



砂川市立砂川中学校



建設中の「砂川市立砂川学園」

ヒグマ対策について

日本共産党
高田 浩子

問 本年のヒグマ出没の取組みについて伺います。

答 副市長をトップとした「ヒグマ対策会議」の開催等庁内各部署・消防等と連携し対応策等について検討、実施しています。今年度の出没件数は8月末現在で目撃情報が72件、足跡・ふん等の発見が23件です。

例年同様ヒグマの忌避装置を20か所設置、トレイルカメラ7台を設置しています。農村地域での通報の場合は鳥獣被害対策実施隊員・滝川警察署・農政課職員が現地確認等を行っています。

問 ヒグマによる農業被害に対する取組みについて伺います。

答 国の交付金を活用した電気柵購入の支援や講習会を毎年開催しています。また本年は、箱罾を設置しヒグマ2頭を駆除しています。

問 農業被害額について伺います。

答 令和元年から3年までは無し、令和4年は29万8千円、令和5年は33万3千円、令和7年は50万円

です。

問 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の一部を改正する法律施行後の取組みについて伺います。

答 今後慎重に協議を重ね、緊急銃猟が実施できる体制を整えるよう調査・研究していきます。

問 猟友会の報酬を増やす考えについて伺います。

答 1日に何度も出動の場合もあるため、今後は日当の対応について検討していきます。



ほかに手話施策推進法に伴う取組みについて質問しました。

砂川学園開校に向け
残る学校備品について公明党
辻 勲

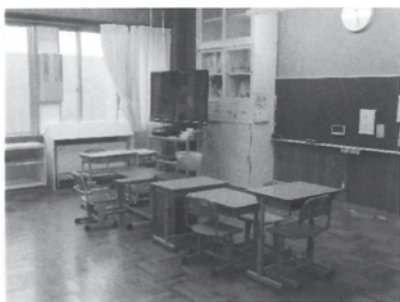
問 学校が閉校になると、備品の処理について課題が生じると考えます。備品や不用品の中には、価値のある資産が存在している可能性があり、こうした資源の適切な販売で、財政の健全化や持続可能な社会の形成に寄与できると思うので、砂川市におけるオンラインショップの活用について伺います。

答 現在、各小中学校では、児童生徒の机や椅子をはじめ、授業で使う教材・教具、図書、作業道具など、多くの備品が使用されており、来年4月に開校する砂川市立砂川学園で引き続き使用する備品は転用することとして、砂川市小中一貫教育推進委員会の各ワーキンググループなどを通じて教職員の間でも踏まえながら、転用する備品の選定作業を進めています。

各小中学校からの転用備品は砂川学園の開校前に移転しますが、閉校した小中学校に残された備品の中には、後に砂川学園で使いたい備品が生じること想定され

るため、閉校後も備品を移転する期間を設け、この期間を経て移転が完了すると捉えています。

その後、残された備品の中には活用可能なものも含まれると考えられるため、有効活用を図る観点から、他の公共施設等で希望のある場合は転用することや、町内会や市民、事業者へ無償譲渡することを検討しています。こうした取組みを行ってもなお残される不用品は、その種類や状態・量などを精査の上、オンラインショップの活用も含めた適切な処分の方



アピアランスケア用品 購入費助成について

公正会・
市民の声連合

沢田 広志

問 がん患者の皆さまが、抗がん剤等の治療による副作用に伴う外見上の変化を補うため購入したウィッグや胸部補整具等の費用の一部を助成して、心理的および経済的負担を軽減し、がん患者の治療と社会参加の両立を支援する自治体が増えており、砂川市も取組みをすべきと思うが考えを伺います。

答 アピアランスケアは、医学的・整容的・心理社会支援を用いて、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケアと定義されています。

がん医療の進歩により治療を継続しながら社会生活を送るがん患者が増加している中、外見の変化によりつらい気持ちを持つ方もいます。そのような方が、がんの治療と学業や仕事との両立を可能とし、治療後も同様の生活を維持する上で、治療に伴う外見変化に対する医療現場におけるサポートの重要性が認識されており、国の第4期がん対策推進基本計画では、

がんとの共生としてアピアランスケアについて相談支援、情報提供に取組むとされ、市立病院では昨年11月にアピアランスケア外来を設置しています。

現在、道内市町村では14市町が助成制度を設けていますが、がん患者の外見の変化は、頭髮の脱毛・鼻・耳・手指の欠損・爪の脱落・乳房の切除などあり、先行自治体の助成内容も様々であることから、ウィッグや胸部補正具等のケア用品購入費の一部助成を含め、国や他市の動向など、情報収集に努めたいと考えています。

アピアランスケア用品

がん患者

購入費の助成

アピアランスケア用品購入費助成

通学路における 安全対策等について

公正会・
市民の声連合

武田 真

問 通学路付近にヒグマが出没しました。道内外では、学校にクマ鈴や撃退スプレーを配置する自治体もあります。義務教育学校では通学範囲も広がることから、通学路の安全対策は急務です。そこでヒグマ出没時の対応や、学校へのクマ鈴・撃退スプレーの配置等についての考えを伺います。

答 ヒグマが出没の可能性がある場合、保護者への送迎依頼・臨時休校・警察等による巡回を実施しています。クマ鈴の携帯は有効とされています。撃退スプレーは見守り時の携帯を検討します。義務教育学校開校に向けて、校区全体とは別に旧校区ごとの安全マップを作成して安全対策を徹底します。

問 ヒグマの出没に関しては、災害に近いものと認識しています。特別交付税等、今後も様々な財源を活用して対策をすることを要望します。

人口減少対策について

問 当市では、まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき人口減少対策を進めてきましたが、依然として厳しい状況です。実際の人口動態と目標値の乖離についてどのように分析しているのか伺います。

答 令和7年7月末現在の人口が1万5千89人に対し推計人口が1万6千68人となっており、乖離の原因は合計特殊出生率の差が大きく影響しています。

問 長期的な若者の流出も要因と考えられます。現状に基づいた見直し等を要望します。



市立病院について

公正会・
市民の声連合
小黒 弘

問 現在、砂川市立病院は経営不振に陥っています。コンサルタント業務の効果について伺います。

答 コンサルタントの業務委託は令和8年1月末を完了予定としており、これまで病院事業管理者や院長との面談、部署ヒアリング、管理職向け報告会を複数回実施し、現在も取り組みを継続しています。

業務委託の効果としては、内部では気づきにくい課題の可視化、第三者視点による改善提案、実行支援による改革の推進力が挙げられます。具体例としては、看護配置基準の見直しを図ったことにより、入院収益の増加が見込まれるなど、提案を実行に移し成果を上げています。

問 病院再建計画の進捗状況について伺います。

答 改善策については現在も実施可能性を検討しています。修正版経営強化プランとして、上期の患者数や診療単価などを精査する令和7年度決算見込と令和8年度予

算を踏まえ策定する予定ですが、実行可能な改善策は随時、積極的に推進していきます。

問 市内開業医が少なくなったことによる市立病院への影響について伺います。

答 砂川市内における医療機関は、昨年、内科医院が閉院となったことにより、現在は当院を除くと、病院1件、一般診療所4件の合計5件となっています。

市内の医療機関が更に減少することがあれば選択可能な逆紹介先が限定的となることが懸念されることです。



砂川市立病院

地域住民と学校の連携について

創生会
石田 健太

問 少子高齢化が加速する現代において、地域社会の活力が失われつつあります。核家族化が進み、近隣とのつながりが希薄になる中で、子どもたちが安心して成長できる環境を維持することは、もはや学校や家庭だけでは困難な状況にあります。

地域全体で子どもたちを育む「共育」の理念に基づき、地域住民・学校・行政が一体となって連携を深めていくことが課題であり、子どもたちが未来を担う力強い大人に成長できる環境を整え、同時に地域社会の持続的な発展を実現するためにも、地域と学校の連携の現状と課題を認識し、より一層の連携強化を図ることが必要と考えます。

そこで、地域住民や団体・企業と学校との連携状況について伺います。

答 本市では、平成14年4月から始まった「完全学校週5日制」ともなう新しい教育改革の中、学校

教育と社会教育が連携・協働する学社融合を推進し、地域を挙げて子供を育てる環境を整える観点から、市民の生涯学習推進の目的で様々な知識や経験を持つ地域人材を登録する「楽習の達人」事業を活用し、学校に対し必要な人材を紹介し連携を進めてきました。

さらに平成22年度には家庭教育サポート企業や公民館グループ・サークルを加えた「学習支援事業」を開始し、講師としての参加、中学校の職場体験の受け入れ、学校の環境整備や教材の貸与など、地域と学校との連携を深めています。



コミュニティ・スクールの の取組みについて

創生会

山下 克己

問 令和8年4月開校の砂川学園

では今までは違う学校運営が求められるとともに、学校と地域のつながりが希薄になっていくことが危惧されます。砂川市では各小

中学校に学校運営協議会を設置し、保護者・地域住民等の学校運営への参画・支援・協力を推進していますが、学校運営協議会の開催状況と協議内容について伺います。

答 令和2年度に2校、翌年度から全小中学校に設置し、現在、年3・4回の会議を開催しています。活動計画や学校経営方針の承認、校長からの課題の提示に課題解決の提案などを行っています。

問 砂川学園の学校運営協議会の体制・活動方針について伺います。

答 市全体で子供達の成長を支え、各地域の声を反映できる体制を作り、全地域で取組める活動を取り入れられるよう、教育委員会で作成したたたき台を各学校運営協議会で協議し決定していく予定です。

問 地域学校協働本部等の設置に

対する考えについて伺います。

答 必要な制度であり、砂川学園に設置される学校運営協議会と協議しながら、設置について検討していきます。

問 コミュニティ・スクールの今後の展開について伺います。

答 これまでの各学校の取組みを無駄にすることなく、砂川学園での取組みにつなげていくことが必要であり、より良い学校づくりのための持続可能な体制づくりを検討・推進していきます。



物価高対策のプレミアム 商品券活用について

創生会

伊藤 俊喜

問 今回のすながわプレミアム商

品券は2万円分購入で6千円のプレミアムになります。物価高騰の中、家計の足しにするには物足りないという声が聞かれます。こういった声が市役所に聞こえているのか伺います。

答 コンビニ、タクシーでも使える、全世帯が購入できるのがいいという声、逆に販売窓口が遠いという声も聞きます。プレミアム率については高い、低いと両面の声があります。

問 昨年のプレミアム商品券を購入した世帯は8千400世帯のうち、4千800世帯と聞いています。多くの人に利用してもらうためにも、販売セット数の拡大など次年度以降に見直していく考えはないか伺います。

答 購入者が一部の世帯に限定されないように、購入世帯数を増やしていきたいと考えています。つまり購入する量を増やすのではなく購入する世帯を増やすことで加

盟店の売上向上につながるよう努めることが最優先と考えています。

問 飯澤市長を先頭に「子育てするなら砂川」のテーマでまちづくりが進められています。「子育て世帯向けプレミアム商品券」のような施策はできないか伺います。

答 他の自治体で一般のプレミアム商品券に上乗せする形で販売しているところがあるのは認識しています。ただ、子育て世帯の全世帯に行き渡らなく、支援が受けられない方も出てくるのが考えられ、現状としては難しいものと考えています。



常 任 委 員 会 の 活 動

常任委員会は定例会が開かれる月（3月・6月・9月・12月）以外に、毎月開催されます。今回は7月・8月の常任委員会質疑を取りあげています。

総務文教委員会の質疑 【7月25日、8月22日開催】

【行財政等について】

- ★令和8年度職員採用登録試験の実施について(3委員)
- ★第27回参議院議員通常選挙の執行について
- ★防災展示の実施について
- ★熱中症対策等の周知について(2委員)
- ★令和7年度第1回砂川市総合戦略推進委員会開催及び「砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画変更について
- ★本年の市政功労表彰について
- ★災害用レンタルトイレ使用について
- ★災害対策の現状と対策について

【市立病院事業について】

- ★経営収支状況について(5～6月分)
- ★コンサルテーションの進捗状況(7月)
- ★中空知地域医療構想の経過について
- ★セル看護について

★懲戒処分の報告について

- ★経営収支状況について(7月分)
- ★中空知地域医療構想調整会議の現状と今後の予定について
- ★コンサルテーションの進捗状況(8月)
- ★薬剤師等の専門資格について
- ★個室使用料の値上げについて

【教育行政について】

- ★熱中症対策について(2委員)
- ★高気温時のプール使用について
- ★自転車ヘルメットの購入状況について
- ★すないうる図書返却ボックス利用実態について
- ★生徒の転入転出について
- ★夏休みの熱中症対策の取組みについて
- ★ヒグマが出没した際の対応についての道教委の通知内容について

社会経済委員会の質疑 【7月28日、8月26日開催】

【市民生活行政等について】

- ★ヒグマ出没に対する対応について(3委員)
- ★市民生活課戸籍年金係窓口での番号カード発券機の運用開始について
- ★戸籍へのふり仮名記載について
- ★マイマイガの発生状況について
- ★市税の増額の要因について
- ★予約型乗合タクシーの利用状況について(2委員)

【保健福祉行政について】

- ★令和8年度学童保育所の再編に向けたアンケート調査の結果及び北地区の学童保育所保育室について(3委員)
- ★開業医の誘致制度について
- ★定額減税不足額給付金の実施状況について(2委員)
- ★要支援・要介護認定者数について(3委員)
- ★開業医誘致の進捗状況について

【建設行政及び下水道事業について】

- ★市有地(宮川団地跡地)新規分譲の開始について

★ヒグマ対策としての草刈り等について

- ★工事等の発注状況について
- ★公共下水道の排水量状況について
- ★水洗化工事の状況について
- ★住み替え支援事業について
- ★砂川市住み替え支援協議会及び住生活支援講座の開催について

【経済行政について】

- ★若年者就労支援事業「新入社員向け研修」について
- ★農作物の生育状況について
- ★動物駆逐用煙火消費保安講習会の開催について
- ★ヒグマの出没状況と対策について
- ★「コープさっぽろ」新店舗の工事進捗状況について
- ★企業誘致について(2委員)
- ★プレミアム商品券発行事業について
- ★東京砂川会役員会及び交流会の開催について
- ★畜産施設からの悪臭について
- ★夏のイベントの総括について
- ★「コープさっぽろ」新店舗について

令和 7 年 第 3 回砂川市議会定例会議決結果表

議案番号	件 名	議決年月日 議決結果
議案第 1 号	令和 7 年度砂川市一般会計補正予算（第 3 号）	7. 9. 9 原案可決
議案第 2 号	令和 7 年度砂川市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	7. 9. 9 原案可決
議案第 3 号	令和 7 年度砂川市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）	7. 9. 9 原案可決
議案第 4 号	令和 7 年度砂川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	7. 9. 9 原案可決
議案第 5 号	砂川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	7. 9. 11 原案可決
議案第 6 号	砂川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	7. 9. 11 原案可決
議案第 7 号	砂川市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	7. 9. 11 原案可決
議案第 8 号	砂川市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	7. 9. 11 原案可決
議案第 9 号～11 号	工事請負契約の締結の議決事項の変更について	7. 9. 8 原案可決
議案第 12 号	北海道市町村職員退職手当組合理約の変更について	7. 9. 11 原案可決
議案第 13 号	砂川市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	7. 9. 11 同 意
議案第 14 号	砂川市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	7. 9. 11 同 意
議案第 15 号	令和 6 年度砂川市一般会計決算の認定を求めることについて	7. 9. 11 閉会中 継続審査
議案第 16 号	令和 6 年度砂川市国民健康保険特別会計決算の認定を求めることについて	7. 9. 11 閉会中 継続審査
議案第 17 号	令和 6 年度砂川市介護保険特別会計決算の認定を求めることについて	7. 9. 11 閉会中 継続審査
議案第 18 号	令和 6 年度砂川市後期高齢者医療特別会計決算の認定を求めることについて	7. 9. 11 閉会中 継続審査
議案第 19 号	令和 6 年度砂川市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定を求めることについて	7. 9. 11 閉会中 継続審査
議案第 20 号	令和 6 年度砂川市病院事業会計利益の処分及び決算の認定を求めることについて	7. 9. 11 閉会中 継続審査
議案第 21 号～23 号	財産の取得について	7. 9. 11 原案可決
報告第 1 号	令和 6 年度砂川市健全化判断比率の報告について	7. 9. 11 報告済
報告第 2 号	令和 6 年度砂川市下水道事業の資金不足比率の報告について	7. 9. 11 報告済
報告第 3 号	令和 6 年度砂川市病院事業の資金不足比率の報告について	7. 9. 11 報告済
報告第 4 号	専決処分の報告について	7. 9. 8 報告済
報告第 5 号	監査報告	7. 9. 11 報告済
報告第 6 号	例月出納検査報告	7. 9. 11 報告済
意見案第 1 号	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書について	7. 9. 11 原案可決
意見案第 2 号	国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書について	7. 9. 11 原案可決
意見案第 3 号	道教委「これからの高校づくりに関する指針(改定版)」を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書について	7. 9. 11 原案可決

市議会の様子をインターネット上で配信しています。

砂川市議会
事務局

住 所：砂川市西 7 条北 2 丁目 1 番 1 号
 電話番号：0 1 2 5 - 7 4 - 8 7 9 6
 E メール：gikai@city.sunagawa.lg.jp
 ホームページ：<https://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/shisei/shigikai/index.html>



行政視察受け入れ状況

9 月 29 日
 ○江別市議会
 ・議場及び議会関連諸室の整備について

砂川高校の生徒と語る

「これからのすながわのまちづくり」

市議会では、今後の議会活動に反映させるため、平成29年度より市民の皆様や市内の各種団体と懇談を行っています。今年度は、砂川、そして日本の将来を担う砂川高校の2年生46名と「これからのすながわのまちづくり」について懇談を予定しています。懇談会実施後には報告書を市ホームページに掲載します。



日時	11月10日(月) 14:00~15:30
会場	市役所4階 議場
内容	砂川高校の生徒との懇談

9月26日

砂川市民を交通事故から 守る一斉旗の波運動

秋の全国交通安全運動の一環として実施された「一斉旗の波運動」に、議会からも議長をはじめ市議会議員一同が参加しました。

この活動は、国道12号沿いで市民や関係団体が一列に並び、黄色い旗を掲げて交通安全を呼びかける啓発運動です。

飲酒運転の根絶をはじめ、歩行者・自転車・車両それぞれが安全を意識することで、交通事故のないまちを目指す砂川市の取組みとして毎年行われています。

会議の開催状況

(7月)	25日	総務文教委員会
	28日	社会経済委員会
(8月)	22日	総務文教委員会
	26日	社会経済委員会
(9月)	1日	議会運営委員会
	8日	議会運営委員会
	8日~11日	第3回定例会
	11日	決算審査特別委員会
	11日	議会広報編集委員会
(10月)	29日	議会広報編集委員会
	1日	決算審査特別委員会
	9日	議会運営委員会

あ と が き

砂川中学校の閉校式取材しました。長年にわたり地域の教育を支えてきた学び舎には、数え切れない思い出と、多くの卒業生の足跡が刻まれています。式典では、在校生や地域の皆さんがそれぞれの時代を振り返り、感謝と惜別の思いを共有したのではないかと思います。

来年度からは小中一貫の「砂川学園」が開校し、新たな歴史が始まります。これまでの伝統を大切にしながら、次の世代が未来に羽ばたく学び舎として発展していくことを期待しています。(武田)

議会広報編集委員会

委員長 鈴木 伸之 副委員長 高田 浩子 委員 武田 真 委員 山下 克己